

総務省放送政策課 御中

平成23年8月8日

逗子・葉山コミュニティ放送株式会社

代表取締役 木村 太郎

前回の調査の際は、関東ブロック広域放送への参入希望を示しました。しかし、3.11東日本大震災に際しコミュニティ局として地域の安心安全に供するメディアとしての責任を改めて痛感しています。

そうした折、「デジタル・コミュニティ放送構想」が新たに浮上しており、弊社としては、当初の参入希望を変更し、このデジタル・コミュニティの放送を実現すべく、具体的に検討に入っています。

ご質問について、以下にご回答申し上げます。

<ハードの具体的な整備計画(出資計画)>

弊局は、基本的には受託事業に出資する考えはありません。

<電波利用料の負担について>

昨年の検討会で出されている、人口比例を前提にした、費用負担が適当と考えています。

<ソフトのビジネスモデル>

現在、アナログ放送では、24時間365日、自主作成番組を放送しております。デジタルラジオにおきましては、当面、アナログとのサイマルを考えており、現時点でのアナログベースのビジネスモデルに加えて、IPキャストによる新ビジネスモデルの展開を図りたいと考えております。

<希望セグメント数>

音声1セグメント、IPキャスト2セグメント、計3セグメントの利用を考えています。

<ソフトへの参加主体>

逗子・葉山コミュニティ放送株式会社

<端末普及のための具体的動き>

基本的には広域を対象とするブロック放送によって受信機の普及が加速すると考えますが、同時に防災行政無線放送を補完するものとして、自治体、県などによる端末の配布を強く希望します。

<災害情報提供の具体性>

プッシュ式の警報伝達については、放送システムに組み込まれるものと期待しております。

災害発生後の緊急情報、復興に伴う各種の行政情報や住民支援情報の伝達については、自治体、県による IP キャストの利用を図るほか、音声放送にて伝えるのは当然の責務と考えます。

<プラットフォームの機能・主体>

IP キャストのプラットフォームの運用については株式会社 CSK と連携して運用を図ります。

<その他:実証実験について>

東海地震に伴う大津波は相模湾にも及ぶことが予想され、その防災のためにもデジタル・コミュニティ放送が大きな役割があると考えます。

そこで「相模湾防災ラジオ・ネットワーク構想」をまとめ、神奈川県黒岩知事の承認を得て具体的な検討に入っています。

その具体化の第一段階として、弊社が事業主体となって先行実験放送を行いたいと考えており、別紙に考えをまとめましたので、ぜひご検討をお願いします。

以上

V-Low帯

デジタル・コミュニティ放送に関する  
考え方および準備状況のご報告

逗子・葉山コミュニティ放送株式会社

# デジタル・コミュニティ放送の サービス

- 災害時のプッシュ式警報伝達  
(緊急地震速報・津波警報等)
- 災害発生後の情報伝達
- 日常の地域情報伝達
- 地域活性化のための情報活動

# 相模湾防災ラジオ・ネットワークの必要 東海地震による津波予測(海上保安庁)



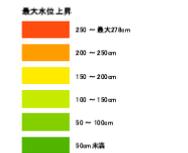
## 想定東海地震による相模湾津波防災情報図広域版(進入)

計算条件 最大水深:150mメッシュ  
解像度 平均2km(4km~1km)

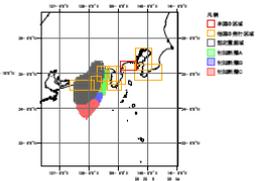
この図は150mメッシュで計算した津波の幅程度であり、湾内や沿岸域の詳細は必ずしもシミュレーション結果が正確に反映されていません。  
なお、「津波防災情報図」(150mメッシュで計算)が整備されている海域はそれを参照してください。



凡例  
○ 観測水位観測点  
○ 津波警報発出地点

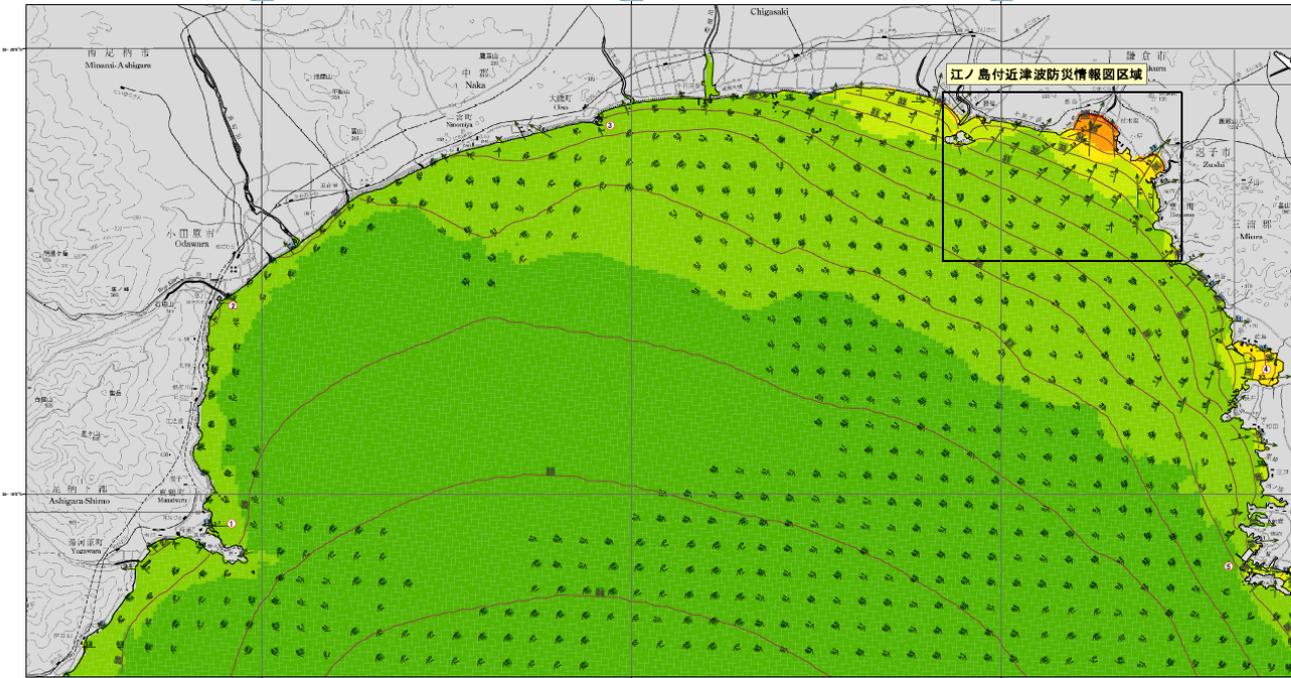


本図の区域及び想定震源域と行政界の位置



	中央の経度	中央の長さ
想定震源域	34-45° N, 138-02° E	15 km
村田断層A	34-45° N, 138-30° E	4 km
村田断層B	34-15° N, 138-20° E	6 km
村田断層C	34-00° N, 138-00° E	7 km

本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを採用しています。



・この図は観測時から6時間のシミュレーションを行い作成しています。  
 ・最大水位の表示は、6時間のシミュレーション結果から150mメッシュ7\*7個(1050\*1050m)の49個から最大のもを表示しています。  
 ・表示されている最大水位は、津波の到達時刻に一致する時刻に発生した津波の最大水位を示しています。  
 ・津波の到達時刻は、水位が10cm上昇した時刻を算出しています。  
 ・時刻変化と水位変化のグラフは最大水位を基準として、6時間の津波の水位変動を表示しています。時間による潮汐の変化は考慮されておらず、津波は計算条件の基準面に仮定します。  
 ・時刻変化図に比較されている時刻は、潮汐が最大と仮定したときの時刻(平均水面)を示しています。  
 ・時刻の情報は海図から取得しています。  
 ・計算に使用した地形データは、海上保安庁海洋情報部のJ-E G G 5 0、J-B I R D、沿岸の海の基本図地加データ及び海図を作成する際の基礎データを使用しています。  
 ・この地図の作成にあたっては、国土情報院長の承認を得て、国土情報院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号平:15000、第672号)

# 相模湾防災ラジオ・ネットワークの 構成

- 自治体

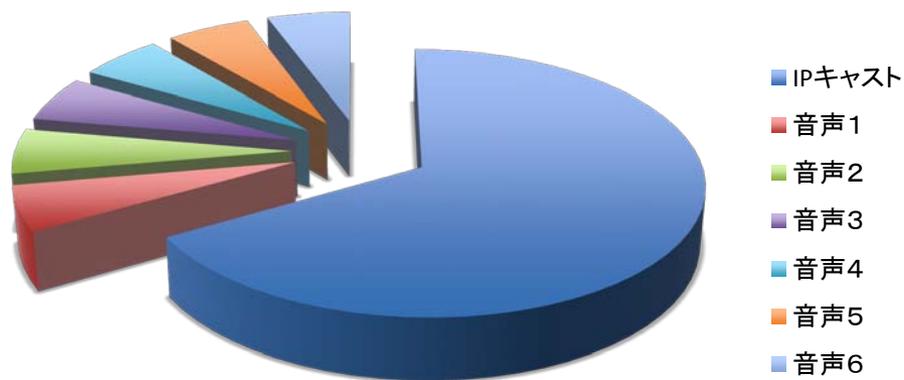
神奈川県、三浦市、横須賀市、葉山町、逗子市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、大磯町、二宮町、小田原市、真鶴町、湯河原町

- FM局

横須賀FM、逗子・葉山FM、鎌倉FM、藤沢FM、平塚FM、小田原FM

# 3セグメントの使い方

- 1セグは音声6チャンネルを使用



# 先行実験放送

- 事業主体  
逗子・葉山コミュニティ放送株式会社
- ハード事業体  
未定(逗子・葉山コミュニティ放送株式会社が代行することも可能)
- 参加自治体  
逗子市(58000人)葉山町(33000人)鎌倉市(175000人)
- ソフト事業体  
株式会社CSK

# 先行実験放送の実施

## 送信所

- 逗子市披露山(海拔100メートルーNHK,民放中継アンテナあり)
- 葉山町仙元山(海拔185メートルー現アナログ放送送信所あり)
- 葉山町二子山山頂(海拔208メートルーKDDI中継所あり)

## 放送出力

100ワット

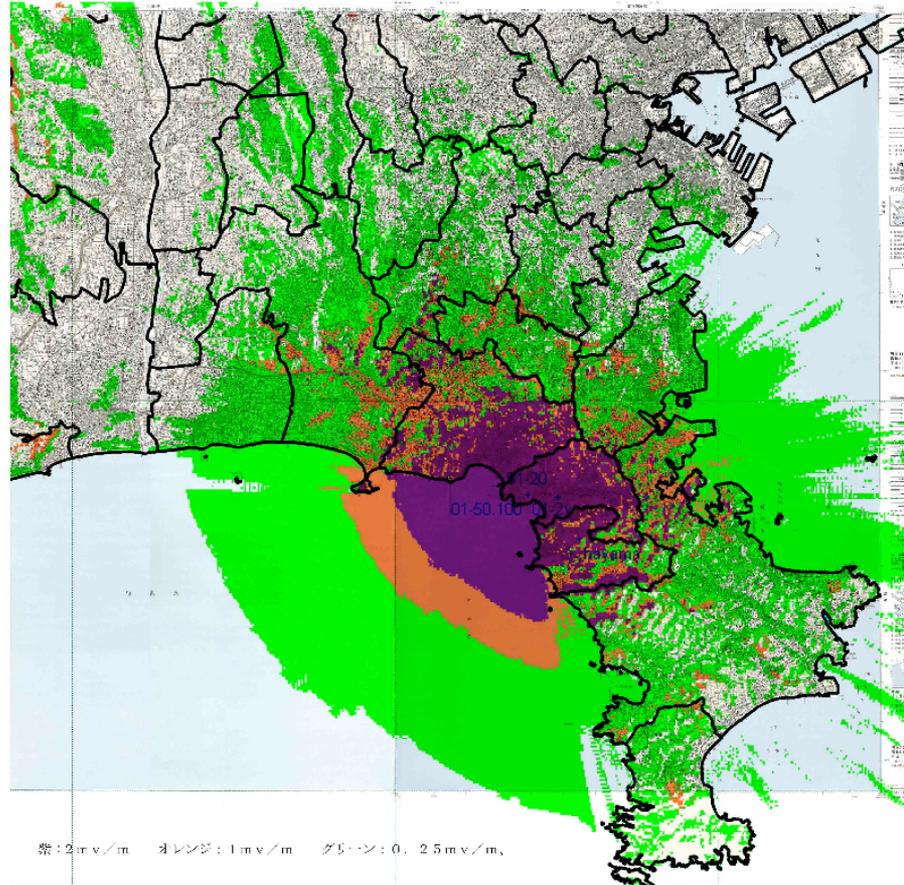
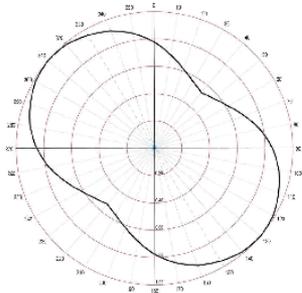
## 放送内容

原則的にアナログ放送のサイマル放送

# 逗子市披露山(海拔100メートル) より100wで送出した場合

送信点  
神奈川県逗子市披露山5丁目  
北緯 35度17分47秒  
東経 139度33分53秒

送信出力 : 100W  
空中線高度 : 101m  
空中線形式 : U型ダイポールアンテナ  
1機1面 H  
方位角 130° - 310° 方向  
空中線利得 : 0.0dB  
給電線損失 : 1.5dB

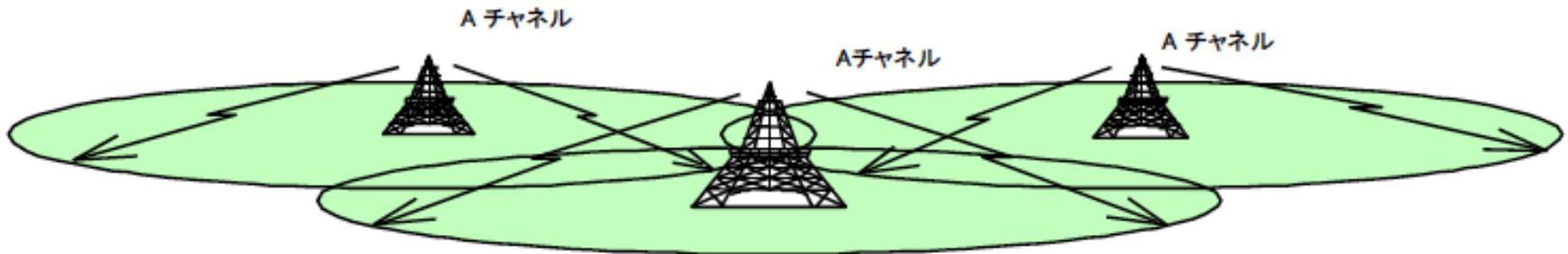


# 先行実験放送の検討項目

- 伝播調査
- プッシュ式警報伝達の可能性
- IPキャストによる災害情報伝達の可能性
- 自治体との連携のあり方
- IPキャストのビジネスモデルの検討
- 受信機普及計画

# 相模湾防災ラジオ・ネットワークの 最終的な姿

- SFNを活用して相模湾沿岸をカバーする



OFDM変調方式(直交周波数分割多重変調方式)を用いることで、親局や中継局の放送エリアごとにチャンネルを変えなくても放送網の構築が可能。

ただし、他の放送局からの電波の届く時間が一定値を超える大きさ(遅延時間が大)で、その電波が一定値を超える強さの場合は、「混信」が生じる。

# 日程

- 2011年秋 先行実験
- 2012年秋 SFNによるネットワーク実験
- 2013年秋 先行実験の総括
- 2013年秋 本免許による放送開始